

研修科目	在日日系社会と外国人支援団体の取り組み
分野	その他（日本語教育、母語教育、幼児教育、多文化共生）
コース No.	NL1
研修種別	長期（91日以上、9か月以内）
上期・下期	上期
来日日	5/12
帰国日	12/20
提案団体	特定非営利活動法人 ABC ジャパン
提案 URL	https://www.abcjapan.org/
現職・資格・知識	子どもが好きで社会活動に興味関心のある方。 日本語教師や教員経験のある方、コンピューターに詳しい方が望ましい。
経験年数	実務経験 1 年以上
日本語能力	N3
ポルトガル語・スペイン語能力	ポルトガル語（母語）
① 目標	研修員が、在日日系人社会と日本の多文化共生の現状を理解し、課題解決に向けた知見を習得する。
② 成果	1. 多文化共生のまち鶴見に数多く暮らす日系人や様々な国から移住してきた家族が、どのような課題を抱えながら、社会において生活しているのかを地域での活動を通して肌で感じ理解する。 2. 公立小中学校やフリースクールに通う日系人子弟や外国につながる子どもたちが直面する言葉や文化の壁、あるいは学習の困難さなどを理解し、日本における移民への教育の現状について学ぶ。 3. 当団体のプログラムへの補助業務を行う中で、日本の NPO 法人の運営方法や経理、情報発信、イベント等の企画・実施のノウハウ、行政や他団体、学校等との連携の仕方などを学ぶ。 4. 地域の高校や大学、国際交流ラウンジ等で、多文化共生イベントや多文化教育プログラム等を共に企画・実施し、多文化共生社会の実現につなげる。
③ 計画（内容）	研修計画（内容）： 1. 講義（内容）：在日日系人社会、日本の多文化共生政策、当団体の活動、外国につながる子どもの教育、日本の教育システム、外国人市民への相談対応、日本語講座の聴講等 2. 実習：フリースクール、小学校内放課後教室、中学・高校生対象放課後自習室、大人向けの日本語教室、キャリアアップ支援教室、多文化教育プログラム、日系人子弟対象の継承ポルトガル語教室等 3. 見学：公立の小中学校、高校、専門学校、国際交流ラウンジ、区役所・市役所、教育委員会、日系人が経営する企業、領事館、大使館等 4. 活動報告：研修で習得した事柄について報告会を実施
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	日本にルーツをもち、移住者の子孫として教育を受け成人した日系人研修員が、言葉や文化の壁などのさまざまな課題を抱えながら日本で生活している日系人をサポートする活動を通して、在日日系社会の実情を学び、言語力を生かしながら実際にコミュニティに貢献することができる。また、日本社会のシステムや学校教育、自治体、支援団体等の取り組みや文化などを学び、帰国後は、今後来日する予定の日系人にセミナー等の形で伝え、来日後の仕事や子どもの教育といった生活の不安が少しでも取り除けるようにサポートしてもらおうことが期待される。
備考	